

作品 No.176



生きものの“つぶやき”:

「どっちが本物でしょう！」

エッセイ:

白色と緑色が視界に入り、ふとそれを見てみたらカマキリの脱皮後に出会うことができた。まるで、こちらを睨みつけ威嚇しているように見えるが、脱皮に成功して自慢をしているようにも見えるところが面白い。このカマキリを見つける前は、脱皮はしないと思っていたの

で非常に驚いた。今までカマキリは怖いイメージがあったが、まだ小さくてこちらを見上げる仕草はとても可愛く見え、命の力強さを感じた。全ての人が生き物や植物の意外な一面を発見し、益々自然に対する愛情を持てば、より自然は豊かになるのではないかと思う。(244字)

生きものの紹介:

カマキリ

撮影場所・日時:

自宅周辺・9月

応募者の自己紹介:

1. 佐野文音／静岡県立富士宮東高等学校 3年
2. 所属：特になし
3. 将来の夢：動物看護師

審査委員会からのコメント

脱皮直後の珍しいシーンを捉えました。色の対比が効果的。ツヤツヤして綺麗ですね。